

発 刊 に あ た っ て

福生市教育委員会教育長

町 田 倍 二

昭和50年度の福生市の社会教育の状況を御報告するに当たり、まず、福生市の社会教育の振興のために、さまざまところで御協力、御指導をいただきましたことを、深く御礼申し上げます。

御承知のとおり、「社会教育」そのものは、市民の1人1人の心にかかわっているものであり、行事や活動はその形態を示しこそすれ、中味はどのように1人1人にうけとめられ、効果があったのかによります。そのことから、教育委員会が、社会教育の分野で果たす役割は、市民の皆さんが、1人でも多く、より深く、自からを創造するしごとのできるよう、御手伝いすることになるわけです。

おかげさまで、このうち条件を整備していく仕事は、関係各位の深い御理解のもとで、施設的には、仮称 市民会館 公民館の建設の開始、わかぎり会館の建設や既存の施設等の整備という型ですゝめられてきており、更に市民の方々の自主的な文化、体育の諸活動に対する援助も年々増加し、御要望に充分応えられない状況すら生まれてきています。

また、主催する諸事業も内容の深まりと参加者の増加の傾向をみても、市民の皆様の御理解の広まりと深まりによるものと感じております。

もとより、これら社会教育の諸活動には限界がありません。それだけに現状を厳しく見つめ検討し、合理的、能率的に、市民の1人1人の学習が進められ、明るく豊かな社会が形成されていくよう努力をしなくてはなりません。

この報告書は、そのための基礎的な資料として作られています。御一読の上、今後の御指導御協力をお願い申し上げます。